

東京・谷中「雑貨と本 gururi」店主の日々とこれまで、これから

gururi のぐるり

渡辺愛知

定価◎ 本体 1800 円+税

ISBN978-4-907053-81-9 C0095

2026 年
3 月上旬

およそ5坪の小さな店ながら、確かな選書、心地いい雰囲気に惹かれ、多くの人が集まる「雑貨と本 gururi」。暮らしに必要な食や雑貨、暮らしの本、詩歌や海外文学、そして社会問題、フェミニズムの本が並びます。

「あるひとりの架空の女性をイメージして、その人を思いながらお店をつくっている」という店主・渡辺愛知さんが、この店に至るまでのこと、女性がひとりで商売を営むこと、その現実、思うことを綴りました。

おだやかで素敵な店内ながら、そのイメージにとどまらない、女性1人で書店を営む現実、その思いが伝わってくる内容です。装画、装丁、本の佇まいとともに、本と本屋さんが好きな方、女性の方々に手に取っていただきたい1冊です。ぜひご展開のほど、何卒よろしく願いいたします。

本書の一部です



判型頁数◎ B6 判変型・小口折製本・192 ページ
装丁◎ 宮本亜由美
装画 花松あゆみ

渡辺愛知（わたなべ・あゆち）
静岡県生まれ。広告制作会社、書店、出版社勤務を経て、2021 年より東京・谷中で「雑貨と本 gururi」を営んでいる。

一気がつくと 21 時。帰り支度をする。店内の照明を消すが、窓辺の小さなスポットライトだけはつけたままにしておく。これは開店当初にご近所のおばあちゃんから、この窓辺を見るのが楽しみなの、と声をかけてもらったから。そういう人がいる限り、窓辺を飾り灯りをつけておこうと思う。（「gururi の一日」より）

一毎日、楽しいことばかりではありません。世界を見渡せば、侵略のニュースに不安になったり怒りをおぼえたり。この国の政治不信も募るばかりです。そういうときにも、ここに本を並べる。その一冊一冊が思いをこめてつくられている。世界を信じるための本のように感じて、心強かったです。（「冬の日記」より）

一私はこの場所で、たくさんの人生を見せてもらっています。弱気になって、いっそ閉店してしまおうか。そんな思いもあったのですが、でもやっぱり私は、まだお店を続けようと決めました。（「夏の日記」より）

FAX : 03-3294-2177 〈JRC宛〉

mail : info@tababooks.com 〈タバブックス宛〉

◎取次 = JRC tel 03-5283-2230
fax 03-3294-2177

JRC を通して全ての取次への出荷が可能です。
◎返品は無期限で承ります【返品了解者：宮川】

| 貴店番線印 | ご注文数 | タバブックス | 文芸／エッセイ | 返品 条件 付き 注文 扱い |
|-------|------|---|---------|----------------------------|
| ご担当 様 | | <p>gururi のぐるり 渡辺愛知</p> <p>2026 年 3 月上旬 定価 本体 1800 円+税 B6 判変型・192 ページ ISBN978-4-907053-81-9 C0095</p> | 新刊 | |